

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年10月3日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年10月3日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【1～4号機 出入管理所における通信ケーブル切断について】 1～4号機 出入管理所において、不要ケーブルのみ切断すべきところ、不要ケーブルと一緒に捕縛されていた通信ケーブルも切断した。 その後、復旧作業を実施し、正常状態に復帰。	G II	9月27日
2	【自家用電気工作物設備一覧表の誤記について】 自家用電気工作物設備一覧表の誤記を確認。 受電設備の契約箇所変更時に、変更内容が自家用電気工作物設備一覧表に反映されていなかった。 原因は、受電設備の契約管理をしている部署が、自家用電気工作物設備一覧表を管理している部署に変更内容を伝えていなかったことと判明。 現在、対応検討中。	G II	10月2日
3	【既設多核種除去設備(C)の循環タンク(C)液位計における指示不良について】 運転中の既設多核種除去設備(C)において、「循環タンク(C)液位低低」警報が発生し、既設多核種除去設備(C)が停止した。 調査の結果、循環タンク(C)液位計の指示不良を確認。 今後、点検予定。	G III	9月28日
4	【増設多核種除去設備、高性能多核種除去設備、地下水ドレン集水設備および免震重要棟K排水路監視モニタにおける伝送異常について】 増設多核種除去設備、高性能多核種除去設備、地下水ドレン集水設備および免震重要棟K排水路監視モニタにおいて伝送異常が発生。 原因は、1～4号機 出入管理所において、誤って、通信ケーブルを切断したため。(番号1の不適合) その後、復旧作業を実施し、正常状態に復帰。	G III	9月27日